

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスMORE則松校		
○保護者評価実施期間	R7年 2月 15日 ～ R7年 3月 5日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22 (回答者数)	20
○従業者評価実施期間	R7年 2月 15日 ～ R7年 3月 5日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の満足度が高い	愛情をもって関わり、児童が好きなことを療育に取り入れている。	全員が満足しているとの回答だったため、支援の質を維持しつつ、子どもが喜ぶ活動を立案する。
2	支援環境が整っている。	特性に合わせた構造化を行なっている。	単位増設で室内スペースが狭くなったため、児童数に応じて室内空間の設定の工夫をする。
3	保護者様と連携が取れている。	送迎時やお電話、連絡帳等で日々のお子様の様子を共有して支援につなげている。保護者様から相談を受けることも多く、育児やお困りごとについてアドバイスをを行っている。定期的に保護者面談を行っている。	保護者会が無いため、保護者様を招いての行事などを企画して交流する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との連携が少ない。	低年齢の児発児童が多く、安全確保を考えると地域交流が難しい。	園や学校、相談員さんとは連携を取っているため、地域情報を取り入れて支援につなげる。
2	外部評価を行っていない。	保護者様や外部から、運営や支援に関するご指摘が無く、業務の優先順位を考えると時間的に余裕がなく行っていない。	実地指導での指摘や保護者様からのクレームやご要望などがあれば行なっていく。
3	ミーティングの時間が少ない。	児童の預かり時間が長く、サービス提供時間以外にも支援や送迎業務が発生しているため。	現在は児童が少ない夕方の時間に見守りをしながらミーティングを行っている。長時間のミーティングが出来ないため、補填として引き継ぎノートやラインワークス、ホワイトボードなどのツールを用いて情報共有を図る。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等ディサービスMORE～モア～則松校			
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 15日		～	令和7年 3月 5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数)	11名
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 15日		～	令和7年 3月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 19日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	5年以上の経験を持つ保育士・児童指導員といった専門職が支援に関わっている。	・各専門職がプログラムの作成に関わり支援を行なっている。 ・個別療育では、専門的支援実施計画書を作成している。 ・一人一人のアセスメントを各専門職の視点から行い、苦手な分野や得意分野を把握し支援につなげている。	・客観的な評価をアセスメントを行うことで強みを生かした支援を行なっていく中で弱みに対する環境調整や配慮を行なっていきたい。
2	利用者及び保護者の満足度	・療育などの教育・支援の中で保護者様からの信頼を得ることが出来るようにニーズの把握や問題発生(クレームや事故など)時の対応について優先順位を高く対応を行っている。	・保護者様との関係性の中で職員によって信頼度の違いがありクレームとなってしまうことがあるため、今後もミーティングやKYT研修を行うことで統一した対応が出来るようにしていきたい。
3	学習支援について	・来所後からのスケジュールの中で習慣的に学習に取り組めるように支援を行っている。 ・小学校に入学した利用児についても椅子に座って取り組みを行うことで学習への意識を身につけることが出来るようにしている。	・学力アップの場所ではないため、基礎学力の定着と将来への目標をもって活動出来るように支援を継続して行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児と地域との交流機会や保護者同士の交流会の企画・提案不足	・情報収集を行っているが地域イベントが閉所日に行われていることで参加することが出来ていない。 ・年間計画として保護者同士も交流できる機会を設けていきたい。	・安全面を考慮しながら近くの公園での地域の方との交流を継続していき、地域の活動等の情報収集を行っていく。 ・今後も情報収集を行い、長期休暇の時など参加できる行事やイベントを探していきたい。
2	非常時の対応や安全確保についての取り組みに関して保護者の方へ情報が伝わっていない	・災害時、緊急時マニュアルは整備されているが、保護者の方へしっかりと情報が伝わっていないかった。また、避難訓練等も利用児を含めて行っているが、周知不足があり、全体に伝わっていない事がわかった。	・保護者の方にも周知していただけるようにSNSやスケジュール表を活用して全体周知に取り組んでいく。
3	職員間のミーティング不足について	・職員間のミーティング不足により、保護者様からのクレームや利用児の変更点が情報共有が不十分であったことがあった。また、送迎業務にも支障があったため、改善が必要である。	・単位増設後、放課後等ディサービスのみの運営となったため、午前中にミーティングを行い利用児の情報共有や変更点の周知を行っている。その中で研修を行うことで職員のスキルアップをし今後の支援に繋げていけるようにしていきたい。